

第 56 期

# 事業報告書

(平成12年4月1日から平成12年12月31日まで)



## 株主の皆様へ



代表取締役会長

宮地 孝



代表取締役社長

行待 裕弘

株主の皆様には、平素は格別のご支援を賜りあり難く厚く御礼申し上げます。

さて、当社は第56期営業年度（平成12年4月1日から平成12年12月31日までの9ヶ月間）を終了いたしましたので、ここに当期の事業の概況をご報告申し上げます。

なお、当期の業績につきましては、9ヶ月決算でありましたため、前期との業績比較をいたしておりません。

ご諒承願いますようお願い申し上げます。

## 経営方針

### 1. 経営の基本方針

当社グループは、「良い商品」「良いサービス」をお客様に提供することを通じて、社会に貢献することを基本理念としています。

また、株主・取引先・顧客・従業員など、すべての関係者と共存共栄を図り、企業価値を高めることを行動の指針としています。

### 2. 利益配分に関する基本方針

当社グループは、経営基盤の強化を図ると共に、株主各位に対しては、安定的な配当の維持および適正な利益還元を基本としています。内部留保金につきましては、新規事業の開発活動および既存事業の効率化、省力化を推進するための投資、財務体質のより健全化等に活用し、企業競争力と企業体質の更なる強化に取り組んでまいります。

### 3. 中期的な経営戦略

(1) 顧客満足度・投資家満足度を高めるために、インターネット等、新しいタイプの無店舗販売を含む各種事業の多面的展開を進め、平成15年12月期、ROE（株主資本利益率）を少なくとも5%までに高めたいという目標です。新規事業の展開次第では、ROEを更に高めることも可能です。

(2) 効率経営の推進のためには、情報システム再構築による業務全般の効率化、データウェアハウス活用による販売効率のアップ、EDIを使ったSCM（サプライチェーンマネジメント）の展開、目標と成果を中心とした人事制度、キャッシュフロー重視の財務活動の5項目を重点活動として実施します。

(3) 企業価値創造と顧客満足度の向上のため、受注から商品お届けまでの期間短縮、配達品質の向上、コールセンターの質向上、営業拠点の活用、商品満足度の向上、地球環境を意識した商品政策、ISO14001（国際標準による環境管理システム）の取得の7点を行動計画の中心において経営をいたします。

(4) 当社グループの経営基盤力を重視して、新規事業を展開していきます。当社グループの800万人の顧客リスト・受注や物流等のインフラ体制・ビジュアル表現力・事業や商品の企画力を活かして、インターネット通販の強化、e-shop事業の拡大、ノベルティー事業（B to B）を推進する計画です。

(5) 執行役員制度を導入し、業務執行機能の強化と取締役会の活性化を目指します。

## 当社グループの経営成績

### 1. 当期の概況

当期における国内景気は、やや回復の兆しも見えてまいりましたが、株価の低迷や雇用不安は解消されず、個人消費の本格的な回復感には乏しい状況が続いております。

通信販売業界におきましても、インターネット通販に参入する企業も増加し、一部明るさも見えてまいりましたが、依然として厳しい経営環境となっております。

当社グループにおきましては、このような状況下、顧客目線に立った「品揃え」「品質」「温かいサービス」をテーマに、オリジナル商品の開発強化や品質の向上等に努めてまいりました。

また、情報システムの再構築による業務全般の効率化も図りました。しかしながら、カタログ秋冬号の実績が計画を下回り、その結果、連結売上高は1,126億85百万円に止まりました。

利益面は、営業利益5億30百万円、経常利益9億32百万円でした。当期において、退職給付債務の積立不足額23億47百万円を一括償却し、また、ゴルフ会員権等金融商品の時価会計導入により資産の評価損を計上したことに伴い、特別損失合計が52億11百万円となり、その結果、遺憾ながら当期純損益は22億91百万円の損失となりました。

なお、財務体質強化のために、前期実施しました土地再評価に伴い資産に計上した繰延税金資産については、回収可能性の検討を行い、今期これを取り崩して、資本の部を43億71百万円圧縮いたしました。

事業の種類別売上高は次のとおりです。

通信販売業	頒布会事業とカタログ事業の合計で、
	売上高 1,109億32百万円
運送・倉庫業	売上高 7億18百万円
サービス事業・その他	売上高 10億34百万円

連結キャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローが6億46百万円の減少となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、コールセンター建設（千葉県印西市）およびコンピュータシステム開発等の固定資産取得により、13億77百万円減少いたしました。財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出などで、19億77百万円減少いたしました。その結果、当期の「現金及び現金同等物」は168億30百万円と、前期末に比べ40億1百万円の減少となりました。

#### [ 設備投資の状況 ]

当期は、前期に引き続き、上記のコールセンターの建物設備を中心に、工事ベースで6億75百万円の設備投資を行いました。

#### [ 資金調達の状況 ]

資金調達につきましては、当期は行っておりません。

## 2. 次期の見通し

平成13年2月および3月に日本銀行の公定歩合引き下げが行われ、過去最低の水準が更新され、景気の活性化が期待されます。しかしながら個人消費の低迷が続く中、(株)千趣会の主要取り扱い商品の婦人衣料や家庭用品は、専門小売店の台頭もあり、市場競争はますます激化しております。

このような状況下、(株)千趣会といたしましては、顧客に支持される商品開発に注力すると共に、カタログ誌の再編を実施し、それぞれのカatalogのテーマをより鮮明にいたします。

またインターネットを利用した売上は、今期も更に伸びると予想しておりますが、ホームページの拡充や各種情報の発信を強化してまいります。それと共に顧客の利便性を高めるために、携帯電話からの注文や問合わせの受付も充実させてまいります。

既存の事業については、より効率的な運営を図り、収益を確保すると共に、現在新しく取り組んでおります事業に関しては、将来の柱となりうるかどうかの判断を早期にいたしたいと存じます。

株主の皆様方の一層のご支援、ご鞭撻をお願い申し上げる次第であります。

平成13年3月

## (株)千趣会の事業概要と成績

当期の営業成績につきましては、頒布会事業・カタログ事業を合わせまして、売上高は1,081億24百万円に止まりました。利益面は、営業利益2億円、経常利益6億50百万円でした。当期において、退職給付債務の積立不足額22億37百万円を一括償却し、また、ゴルフ会員権等金融商品の時価会計導入により資産の評価損を計上したことに伴い、特別損失合計が46億80百万円となり、その結果、遺憾ながら当期損益は20億92百万円の損失となりました。

当期の配当につきましては、決算期を変更したことに伴い、平成12年4月1日から同年12月31日までの9ヶ月間で計算しており、前期の年間配当金16円の9ヶ月分に相当する1株当たり12円の配当をさせていただきます。

部門別概況につきましては、次のとおりです。

### 頒布会事業



頒布会(ハートジョイクラブ)事業は、オフィスなどで働く女性にグループを作っていたが、当社の企画スタッフがオリジナルに開発した商品を、毎月、定期的にお届けするという販売形態をとっており、他の通信販売会社にはない独自のシステムで展開しています。

頒布会商品は、OLたちの感性にピッタリ合ったデザインで、市販の商品には見られないオリジナリティの高いシリーズ商品を取り扱っております。しかも全国に所在する支店等の営業拠点を通して顧客とのふれあいがあることで、当社と顧客の間には、商品とコミュニケーションを通じて強い信頼関係が築かれており、頒布会は安心して継続購入していただける効率のよいシステムです。

また、頒布会で獲得した顧客が、カタログ事業の顧客として定着していくなど、頒布会は当社の基盤となる事業といえます。

### 当期の事業成績

頒布会事業では、当期も21点の新商品を投入して、多様化する顧客の幅広いニーズにお応えいたしました。

そのなかで、平成12年9月に発売した「本になった料理学校特別講座(料理レシピブック)が5万6千人、10月発売の「焼きたてパン曜日(パンの手作り材料セット)が11万6千人、同月発売の「月刊ちよこたべ(全国の駄菓子セット)が9万8千人の会員を獲得し、平成13年においても会員の増加が期待されます。



本になった料理学校 特別講座



焼きたてパン曜日



月刊 ちよこたべ

また、平成11年5月発売の「スープなしあわせ(フリーズドライ製法のスープ)が13万4千人の会員を獲得し、当期の会員数に寄与いたしました。(会員数はいずれも平成12年12月31日現在のものです。)

しかし、それ以外の新商品につきましても計画した売上を達成することができず、従来から販売している商品のサイクル終了に伴う売上の減少をカバーすることができませんでした。

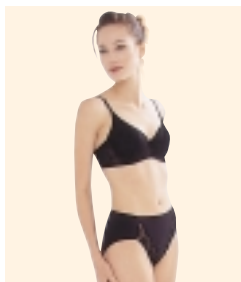
その結果、当期売上高は213億82百万円となり、月次平均会員数は126万7千人となりました。

次期においては、頒布特性を活かした、28点の新商品の投入を計画しておりますが、その中でも会員増が期待される商品として、平成13年4月発売(予定)の「おいしい!元氣レシピ(料理レシピブック)、同年5月発売(予定)の「フェアデュエット(レーシーなブラ&ショーツのセット)があります。

また、平成11年よりスタートいたしました「個人で気軽に買える頒布会」の「マンスリークラブ わくわくの森」は、平成12年12月末現在での会員数は14万人となりました。次期においても、会員増・売上増に向けて、商品開発・媒体の強化および販売チャネルの新規開拓を図ってまいります。



おいしい!元氣レシピ



フェアデュエット

## 当期の主な新商品

ビーズ&ビーズ	デザインを選んで作れるおしゃれでキレイなビーズアクセサリーキット
はさんでちょ	簡単に用途別にまとめられるボックスやクリアホルダーなどの整理グッズ
本になった料理学校 特別講座	いつものおかずがグレードアップ。その道一流のプロの技を伝授
プレヴォア ルージュ	肌まできれいに見せるミニサイズ口紅とリップグロス
アミューズブレイク	手軽なカートリッジ式で楽しむ世界の本格派コーヒー
さらにおいしく炊ける備長炭	粒状の備長炭と麦飯石を入れた炊飯用バック
シネマスク	CD-ROM付きのエンタテインメントマガジン
月刊ちよこたべ	4種類のお菓子とリーフレットのセット
グラフィックプリントTシャツ	クールな印象、大人のプリントTシャツ
焼きたてパン曜日	パン作りの面倒な所を省いた簡単に作れるパンの材料セット
リフトアップブラ	大きなバストをすっきりスタイル良く見せるブラ
ミテバラ	携帯できる、飾れる、贈れる。いろいろ楽しめるコンパクトアルバム
にほんのもよう	和テイストのタオルハンカチ
リアルシックイン	ボディラインを美しく見せる大人のカットソー
ソフトフィットインナー	伸縮性が良くアウターにもひびきにくいインナー
シルエットメイクブラ	アウターをきれいに着こなすためのシームレスブラ
ステキのたまごたち	冷蔵庫やロッカーなどで使える活性備長炭が入ったたまご型脱臭剤
ボリュームアップブラ	小さなバストを寄せ上げてボリュームをアップするブラ
<ディズニー ドリーム コレクション>	
森のステーションナリー	プーさんの物語のステーションナリーやアルバムのセット
スタンプセット	ディズニーキャラクターのスタンプ大小2個セット
プーさんポケットアルバム	ディズニーの「プーさん」をモチーフにした、絵本仕立てのポケットアルバム

## カタログ事業



<ベルメゾン>でおなじみの千趣会のカタログは、女性たちの、あらゆる生活シーンを応援し、「毎日の暮らし、もっとセンスアップ」をテーマにお届けしています。現在はカタログ数26種類。1976年のスタート以来、ファッション衣料を中心に、マタニティ用品や子供服、インテリアから日用雑貨に至るまで多彩な商品を、「見る楽しさ、読む楽しさ」=商品情報・生活提案に盛り込んで、職域市場、更には家庭市場で親しまれています。特に最近では、より生活実感に基づいた豊富な品揃えと、女性のステージ別ファッションへの取り組み・好センス、好機能、好品質、好価格商品の開発によって、幅広いファン支持を得、新市場へと積極的に展開しています。



「FG」  
トレンドを意識した、ファッショングッズが充実。



「ファッション館 i」  
大人の女性のためのトータルコーディネートカタログ。



「新 / 生活館」  
快適ライフへのヒントがぎゅぎゅつまったカタログ。



「ホームベース」  
オリジナルブランドで生活空間をセンスよく提案。

## 当期の事業成績

カタログ事業(ベルメゾン事業)においては、顧客目線に立った「品揃え」「品質」「温かいサービス」という全社テーマのもとに、活動してまいりました。

平成11年にスタートした新サービス制度の「ベルメゾンマイレージ」も1年が経過いたしました。その効果も商品購入継続率向上に大きく貢献し、お客様に支持いただいているものと判断しております。インターネット取引も本格的に取り組みを開始し、当期末現在、インターネットのベルネ会員は30万9千人となり、ピーク月の受注金額も7億円を超えるようになっております。

ただ、受注件数は増加いたしましたものの、受注単価の低減により、カタログ事業の売上高は867億41百万円と計画を下回りました。また、期末のカタログ会員数は706万人となりました。

次期に関しましては、効果的な運営を図るために、組織の改編と媒体の再編を実施する計画です。また、顧客の期待に応えるべく、商品の供給率、商品の品質、お届けの品質の向上をテーマに活動し、売上も当期を上回る計画をいたしております。

また、食品事業とe-shop事業を統合し、事業基盤の確立を図りたいと考えております。

## 新規事業展開

### <インターネット通販>

これまで培った無店舗販売のノウハウを用いて、大量注文にも対応可能な本格的ネット通販システムを導入し、eコマース電子商取引に参入いたしました。将来的には当社の発行するカタログの全商品の掲載も可能であり、また、有力仮想モールへの出店やiモード等携帯電話でのサービスも充実いたしてまいります。

ホームページアドレス  
<http://www.bellne.com>



### <e-shop事業>

毎日使う重いもの、かさばる日用雑貨、消耗品、食品などをクイックデリバリーによって翌日にお届けする言わばカタログのコンビニエンスストアともいえる新事業です。平成12年秋にはネット販売「e-shopサイト」も立ち上げており、更に全国展開による事業基盤の拡充を図ります。



### <化粧品事業『コスメキューブ』>

国内外高級ブランド商品(イヴサンローラン、ジバンシイ、マリコール、ミュウ等10社)とオリジナル基礎化粧品(味の素タカラが開発)「エブリ」。スキンケアからメイクアップ、時代の香りまで多彩なラインナップを提供いたします。



### <ブライダル事業『ベルマリエ』>

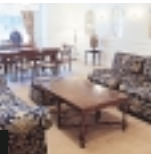
ウェディングドレスやリングをはじめ、挙式・披露宴のプランニングから総合プロデュース、八ネムーン、新生活用品に至るまで、新たなスタートをきるカップルの個性を大切に、オリジナルウェディングをマルチサポートいたします。『ベルマリエ』商品やサービスが実感できる店舗として東京・神宮前に『ベルマリエ原宿』を開設いたしました。



### <ブランドビジネス事業『Velice(ヴェリーチェ)』>

高感度で自分の価値観をしっかりと持った女性のための高級素材ブランド商品を展開してまいります。

情報発信ショップとして、東京・西麻布に『Velice広尾』を開設いたしました。



### <ワイン事業>

オーストラリア産の良質なワインを日本市場に紹介・販売していこうと、ワイン事業を立ち上げました。

横浜にアウトスタンディング・ワインクラブのワインスクール、兼販売拠点を設置し、くちコミやネットを利用してファンを増やしていく計画です。



## トピックス

### カタログ撮影用の自然光スタジオ 「MIXSA」オープン

平成12年11月、兵庫県加東郡社町に自然光を豊富に取り入れたスタジオMIXSA(ミクサ)が完成しました。地上3階建て延べ床面積500平方メートルの中に撮影用のバスルームやキッチン・和室なども完備。今まで以上に質の高いカタログ写真の撮影に取り組んでまいります。



### 千趣会コールセンターが本格稼働

千葉県印西市に建設を進めてまいりましたコールセンターが完成し、平成12年11月1日より本格稼働いたしました。顧客データベースを駆使した次世代システムを導入し、お客様とのより親密でパーソナルなコミュニケーションを実現してまいります。なお、同コールセンターは別会社組織で運営いたしております。



### 交換・引き取りサービスがスタート

かねてよりお客様からの要望が多かった交換・引き取りサービス(無料)を平成13年1月からスタートしております。「サイズが合わない」「違うデザインの方がよかった」などのご希望に、電話一本で対応。今後も更にきめこまやかなサービス体制を強化していきます。



### iモードサービスを開始

平成13年2月よりNTTドコモのiモード上でもカタログ商品の注文やカタログ請求ができるようになりました。また独自企画商品の販売や限定セールなどのサービスも実施。時間や場所を選ばない更に便利なショッピング形態を提供できるようになりました。

iモードアドレス  
<http://i.bellne.com>



## 5期分の連結要約財務データ

(単位：百万円)

	平成12年 12月期	平成12年 3月期	平成11年 3月期	平成10年 3月期	平成9年 3月期
売上高	112,685	157,649	169,088	186,908	186,292
営業利益	530	2,592	3,620	1,928	1,567
経常利益	932	2,616	3,271	1,608	1,095
当期純利益	2,291	1,423	1,401	425	726
設備投資額	767	701	320	1,939	3,096
減価償却費	2,447	3,223	3,624	3,736	3,829
総資産	102,590	111,413	117,996	126,571	127,074
有形固定資産	35,686	37,019	47,597	50,878	52,613
純資産	54,204	60,950	65,273	63,597	63,998
有利子負債	1,731	3,296	5,346	7,824	8,961
1株当たり(単位：円)					
当期純利益	48.11	29.89	29.43	8.93	15.26
純資産	1,138.11	1,279.85	1,370.62	1,335.41	1,344.36
自己資本比率(単位：%)	52.8	54.7	55.3	50.2	50.4
自己資本利益率(単位：%)	4.0	2.3	2.2	0.7	1.1
株価収益率(単位：倍)		36.7	38.4	74.0	62.8

注：(1) は損失を示します。

(2) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(3) 1株当たり当期純利益は各年度の期中平均発行済株式総数に基づき算出しております。

(4) 平成12年12月期については決算期の変更により9ヶ月間となっております。

## 連結貸借対照表

(平成12年12月31日現在)

(単位：百万円)

科目	金額	科目	金額
<b>資産の部</b>		<b>負債の部</b>	
流動資産	52,753	流動負債	42,345
現金・預金	16,847	支払手形及び買掛金	21,328
受取手形及び売掛金	9,910	短期借入金	922
有価証券	239	未払金	15,565
たな卸資産	13,935	未払法人税等	45
未収入金	7,333	未払消費税等	326
繰延税金資産	687	未払費用	1,861
その他	4,013	割賦売上未実現利益	638
貸倒引当金	215	景品等引当金	979
固定資産	49,837	その他	677
有形固定資産	35,686	固定負債	5,988
建物及び構築物	16,495	長期借入金	809
機械装置及び運搬具	5,662	退職給付引当金	2,045
器具及び備品	1,003	役員退職慰労引当金	815
土地	12,525	会員預り金	1,392
無形固定資産	2,407	再評価に係る繰延税金負債	926
投資その他の資産	11,743	負債合計	48,334
投資有価証券	5,690	少数株主持分	
長期貸付金	882	少数株主持分	51
保証金・敷金	1,451	資本の部	
繰延税金資産	1,570	資本金	20,359
その他	2,573	資本準備金	19,864
貸倒引当金	426	再評価差額金	9,188
資産合計	102,590	連結剰余金	22,834
		その他有価証券評価差額金	372
		為替換算調整勘定	33
		自己株式	2
		資本合計	54,204
		負債、少数株主持分及び資本合計	102,590

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書

(自平成12年4月1日 至 平成12年12月31日)

(単位：百万円)

科 目		金 額	
経常損益の部	営業収益		112,685
	売上高	112,685	
	営業費用		112,155
	売上原価	59,288	
	販売費及び一般管理費	52,866	
	営業利益		530
	営業外収益		555
	受取利息・配当金	123	
	その他の営業外収益	431	
	営業外費用		152
支払利息	60		
その他の営業外費用	91		
経常利益			932
特別損益の部	特別利益		882
	固定資産売却益	1	
	投資有価証券売却益	66	
	割賦売上未実現利益戻入高	814	
	特別損失		5,211
	固定資産売却及び除却損	61	
	割賦売上未実現利益繰延高	638	
	退職給付引当金繰入額	2,347	
	保証金償却	115	
	ゴルフ会員権等評価損	735	
	訴訟和解金	794	
	貸倒引当金繰入額	414	
	電話加入権評価損	70	
	投資有価証券評価損	32	
	税金等調整前当期純損失		3,396
法人税、住民税及び事業税		155	
法人税等調整額		1,265	
少数株主利益		5	
当期純損失		2,291	

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結剰余金計算書

(自平成12年4月1日 至 平成12年12月31日)

(単位：百万円)

科 目	金 額
連結剰余金期首残高	25,552
連結剰余金減少高	426
配当金	380
役員賞与	45
(内監査役賞与)	(3)
当期純損失	2,291
連結剰余金期末残高	22,834

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

当連結会計年度より金融商品に係る会計基準 および退職給付に係る会計基準、ならびに改訂後の「外貨建取引等会計基準」を適用しております。

### 1. 連結の範囲に関する事項

- (1) 連結子会社の数 17社  
 千趣会ゼネラルサービス(株)  
 千趣運輸(株)  
 千趣物流(株)  
 (株)エイメ  
 (株)千趣ビジネスサービス  
 千趣会コールセンター(株)  
 (株)北海道千趣会 他 地区販売子会社10社  
 なお、平成12年7月3日に千趣会コールセンター(株)を設立、同社は同年11月1日より営業を開始し、当連結会計年度より連結子会社となりました。

- (2) 主要な非連結子会社名  
 千趣会香港有限公司  
 上海千趣会貿易有限公司  
 SENSUKAI THAILAND CO., LTD.  
 SENSUKAI AMERICA, INC.(休眠中)

### 2. 持分法の適用に関する事項

- (1) 持分法を適用した非連結子会社数 3社  
 千趣会香港有限公司  
 上海千趣会貿易有限公司  
 SENSUKAI THAILAND CO., LTD.  
 (2) 持分法を適用した関連会社数 1社  
 BELLEMAISON(THAILAND) CO., LTD.  
 (3) 持分法を適用しない非連結子会社名  
 SENSUKAI AMERICA, INC.(休眠中)

### 3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社の決算日は全て連結決算日と同一であります。

### 4. 会計処理基準に関する事項

- (1) 重要な資産の評価基準および評価方法  
 たな卸資産  
 主として月別総平均法による低価法によって評価しております。  
 有価証券  
 その他有価証券  
 時価のあるもの・・・決算日の市場価格等に基づく時価法  
 (評価差額は全部資本直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)  
 時価のないもの・・・移動平均法による原価法  
 デリバティブ・・・時価法  
 (2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法  
 有形固定資産・・・定率法  
 ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物付属設備を除く)については、定額法によっております。  
 無形固定資産および投資その他の資産のその他・・・定額法  
 なお、ソフトウェア(自社利用分)については、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。



### (3) 重要な引当金の計上基準

#### 貸倒引当金

一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

#### 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当連結会計年度末における退職給付債務および年金資産の見込額に基づき、当連結会計年度末において発生していると認められる額を計上しております。

なお、会計基準変更時差異(2,347百万円)については、一括費用処理しております。

#### 役員退職慰労引当金

当社、千趣運輸(株)(株)エイメおよび地区販売子会社11社は、従業員の退職慰労金の支給に備えて、内規に基づく期末要支給額の100%を引当しております。

これは商法第287条の2の引当金であります。

#### 景品等引当金

ベルメゾンマイレーシ(景品サービス)に対する費用支出に備えるため、予想交換率を基に当連結会計年度の売上に対応する翌連結会計年度以降の費用発生見積額を計上しております。

### (4) 重要な外貨建の資産または負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。なお、在外持分法適用会社の資産、負債、収益および費用は、決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は資本の部における為替換算調整勘定に含めております。

### (5) 販売促進費の会計処理

当社は通信販売を行っており、販売促進費のうち、翌期の売上高に対応するカタログ関係費用は前払費用として、流動資産の「その他」に含めて計上しております。

### (6) 重要なリース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

### (7) 消費税等の会計処理

消費税および地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

## 5. 連結子会社の資産および負債の評価に関する事項

連結子会社の資産および負債の評価方法は、全面時価評価法によっております。

## 6. 連結調整勘定の償却に関する事項

連結調整勘定については発生年度に全額償却しております。

## 7. 利益処分項目等の取扱いに関する事項

連結剰余金計算書は、連結会計年度中に確定した利益処分に基づいて作成しております。

## 8. 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

連結キャッシュ・フロー計算書における資金(現金及び現金同等物)は、手許現金、随時引き出し可能な預金および容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資であります。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(自平成12年4月1日 至平成12年12月31日)

(単位:百万円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	646
1. 税金等調整前当期純損失	3,396
2. 減 価 償 却 費	2,453
3. ゴルフ会員権等評価損	265
4. 訴 訟 和 解 金	794
5. 退職給付引当金の増加額	2,045
6. 売 上 債 権 の 減 少 額	4,958
7. た な 卸 資 産 の 減 少 額	1,010
8. その他流動資産の増加額	4,377
9. 仕 入 債 務 の 減 少 額	3,449
10. その他流動負債の増加額	1,370
11. そ の 他	76
小 計	1,753
12. 利息及び配当金の受取額	102
13. 利 息 の 支 払 額	49
14. 訴 訟 和 解 金 の 支 払 額	794
15. 法 人 税 等 の 支 払 額	1,658
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,377
1. 投資有価証券の取得による支出	778
2. 投資有価証券の売却による収入	403
3. 固定資産の取得による支出	1,372
4. 定期預金の減少額	13
5. その他資産の増減額	355
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,977
1. 長期借入金の返済による支出	1,703
2. 配 当 金 の 支 払 額	381
3. そ の 他	108
現金及び現金同等物の減少額	4,001
現金及び現金同等物期首残高	20,831
現金及び現金同等物期末残高	16,830

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## (株)千趣会 貸借対照表

(平成12年12月31日現在)

(単位：百万円)

科目	金額	科目	金額
<b>資産の部</b>		<b>負債の部</b>	
流動資産	49,787	流動負債	41,414
現金・預金	14,032	支払手形	13,104
受取手形	47	買掛金	8,187
売掛金	10,500	短期借入金	643
商品	13,505	未払金	15,783
貯蔵品	404	未払法人税等	9
前払費用	2,018	未払消費税等	232
短期貸付金	40	未払費用	1,285
未収入金	7,493	預り金	198
繰延税金資産	661	景品等引当金	979
その他の流動資産	1,313	その他の流動負債	990
貸倒引当金	230	固定負債	4,180
固定資産	49,579	長期借入金	729
有形固定資産	32,865	退職給付引当金	1,897
建物	14,809	役員退職慰労引当金	655
構築物	942	再評価に係る繰延税金負債	896
機械装置	5,472		
車両運搬具	18	<b>負債合計</b>	<b>45,594</b>
器具・備品	955		
土地	10,667		
無形固定資産	2,376	<b>資本の部</b>	
借地権	139	資本金	20,359
ソフトウェア	2,144	法定準備金	20,906
その他の無形固定資産	92	資本準備金	19,864
投資等	14,338	利益準備金	1,042
投資有価証券	5,591	再評価差額金	9,230
子会社株式	1,684	剰余金	21,364
長期貸付金	1,198	固定資産圧縮積立金	102
保証金・敷金	1,156	海外投資等損失準備金	77
投資固定資産	1,593	別途積立金	21,300
繰延税金資産	1,194	当期末処理損失	115
その他の投資等	2,348	(うち当期損失)	(2,092)
貸倒引当金	429	その他有価証券評価差額金	372
<b>資産合計</b>	<b>99,366</b>	<b>資本合計</b>	<b>53,772</b>
		<b>負債・資本合計</b>	<b>99,366</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## (株)千趣会 損益計算書

(自平成12年4月1日 至平成12年12月31日)

(単位：百万円)

科目		金額	
経常損益の部	営業収益		108,124
	売上高	108,124	
	営業費用		107,923
営業外損益の部	売上原価	58,358	
	販売費及び一般管理費	49,564	
	営業利益		200
経常利益	営業外収益		589
	受取利息・配当金	250	
	その他の営業外収益	339	
特別損益の部	営業外費用		139
	支払利息	56	
	その他の営業外費用	82	
<b>経常利益</b>			<b>650</b>
特別損益の部	特別利益		855
	固定資産売却益	0	
	投資有価証券売却益	66	
	割賦売上未実現利益戻入高	788	
	特別損失		4,680
	固定資産除却売却損	47	
	割賦売上未実現利益繰延高	627	
	退職給付引当金繰入額	2,237	
	保証金償却	115	
	ゴルフ会員権等評価損	255	
	貸倒引当金繰入額	413	
	訴訟和解金	794	
	電話加入権評価損	53	
投資有価証券評価損	32		
子会社株式評価損	102		
税引前当期損失		3,174	
法人税、住民税及び事業税		23	
法人税等調整額		1,104	
当期損失		2,092	
前期繰越利益		1,977	
当期末処理損失		115	

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 利益処分

(単位：円)

当期末処理損失	115,259,409
固定資産圧縮積立金取崩額	3,481,485
海外投資等損失準備金取崩額	3,822,517
別途積立金取崩額	3,200,000,000
計	3,092,044,593
これを次のとおり処分します。	
利益準備金	57,152,309
配当金	571,523,088
(1株につき12円)	
海外投資等損失準備金	4,769,004
計	633,444,401
次期繰越利益	2,458,600,192

(注)当期は、決算期変更の為、9ヶ月決算となっておりますので中間配当は行っておりません。

## (株)千趣会の概況 (平成12年12月31日現在)

商号 株式会社 千趣会

設立 昭和21年3月22日

当社は、昭和52年9月30日を合併期日として、株式の額面変更をするための合併を行っており、実質上の存続会社の設立年月日は、昭和30年11月9日であります。

資本金 20,359,134,244円

### (1) 主要な事業内容

当社は主に女性を対象とした出版物・衣料品・家庭用品・趣味用品・その他商品の小売業を営んでおります。

販売方法は、頒布会によるものとカタログ通信販売によるものがあります。主な商品は次のとおりです。

事業内容	種類	主な商品
頒布会事業	出版物	料理全集(本になった料理学校・おばんざい・ごきぶんクッキング)など
	衣料品	下着(シェイプライン・メイクヒップパンツ・リリコット)など
	家庭用品	浄水器(ナチュリック)・タオル(コムレール・ディズニーキャラクタープリントタオル)など
	趣味用品	雑貨(フォレストアロマティディはなのうつわ)・ステーション(月刊 ちよちよこ)など
	その他	食品(スープなしあわせ・お菓子作り・チャティアブレイク・焼きたてパン曜日)など
カタログ事業	衣料品	スーツ・ブラウス・パジャマ・下着など
	家庭用品	台所用品・家具・寝具・和洋ガラス食器など
	趣味用品	バッグ・シューズ・ファンシー小物・アクセサリーなど
	その他	玩具・健康機器・家電製品・カー用品・食品など

### (2) 主要な事業所

本社 大阪市北区同心1丁目4番31号

東京支社 東京都品川区東五反田1丁目21番13号  
ランディック五反田ビル

支店 埼玉・東京東・東京西・横浜・静岡・名古屋・京都・大阪・神戸の9支店

商品センター 鹿沼・中部・京都・甲子園・四国・九州の6商品センター

### (3) 株式の状況

会社が発行する株式の総数 .....90,000,000株

発行済株式の総数 .....47,630,393株

株主数 .....5,570名

大株主(上位10名)

<単位:千株>

株主名	当社への出資状況 持株数(出資比率)	当社の大株主への出資状況 持株数(出資比率)
株式会社 さくら銀行	2,257 (4.74%)	1,243 (0.03%)
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン	1,831 (3.84%)	-
有限会社 左右山	1,792 (3.76%)	-
株式会社 三和銀行	1,627 (3.42%)	317 (0.01%)
野村信託銀行株式会社(投信口)	1,572 (3.30%)	-
凸版印刷株式会社	1,559 (3.27%)	290 (0.04%)
株式会社 第一勧業銀行	1,456 (3.06%)	-
大日本印刷株式会社	1,259 (2.64%)	84 (0.01%)
エムエルビー エフエス カスティエー	1,076 (2.26%)	-
日本生命保険相互会社	1,072 (2.25%)	-

(注)1)1,000株未満は切り捨てて表示しております。

(2)株式会社さくら銀行および株式会社三和銀行への出資比率については、これら2行発行の議決権のない優先株式を除いて算出しております。

(3)株式会社第一勧業銀行の持株会社である株式会社みずほホールディングスへの当社の出資は、持株数が314株(出資比率は0.003%)であります。なお、出資比率については、同社発行の議決権のない優先株式を除いて算出しております。

### (4) 従業員の状況

従業員数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
904 名	9 名	36.5 才	11.2 年

(注)上記従業員には、嘱託・パートタイマーを含んでおりません。

### (5) 主要な借入先

借入先	借入金残高	借入先が有する当社の 株式数および出資比率	
株式会社 さくら銀行	186 百万円	2,257 千株	4.74 %

(注)1,000株未満は切り捨てて表示しております。

## 関係会社

(平成12年12月31日現在)

### 連結子会社

会社名	資本金	持株比率	主要な事業内容
販売子会社11社	百万円 合計160	% 100	当社の商品を特定地域に販売
(株)千趣ビジネスサービス	10	100	当社の商品を委託販売
千趣運輸(株)	99	100	貨物自動車運送業
千趣物流(株)	95	100	荷造り梱包業
千趣会ゼネラルサービス(株)	496	100	旅行業・情報提供サービス業 およびゴルフ場の経営
(株)エイメ	10	73	商品の企画開発
千趣会コールセンター(株)	60	100	テレマーケティング業務の 企画・実施

### 持分法適用会社

会社名	資本金	持株比率	主要な事業内容
千趣会香港有限公司	7百万香港ドル	% 100	香港・中国地区の当社向けの 商品供給
上海千趣会貿易有限公司	2百万円	100	上海・中国地区の当社向けの 商品供給
SENSHUKAI THAILAND CO.,LTD.	3百万バーツ	49	タイランド地区の当社向けの 商品供給
BELLEMAISON (THAILAND) CO.,LTD.	40百万バーツ	30	タイランドでのカタログ販売

## (株)千趣会の役員

(平成13年3月29日現在)

代表取締役会長	宮地 孝
代表取締役社長	行待 裕弘
代表取締役	高井 恒昌
取締役副社長	廣寄 謙
専務取締役	野口 公俊
常務取締役	服部 弓雄
常務取締役	堀井 紘一
常務取締役	猪田 義廣
常務取締役	武元 洋一
常務取締役	朝日 朗殖
取締役	島田 勝利
取締役	佐野 誠
取締役	田川 喜一
取締役	田辺 道夫
取締役	澤本 荘八
取締役	鳥取 捷二
執行役員	吉田 詔
執行役員	日向 皎
執行役員	久保田 清
執行役員	藤由 和秀
監査役(常勤)	金子 瑛二
監査役(常勤)	山岸 洋二
監査役	樽見 弘文
監査役	尾脇 孝

印の取締役は、執行役員を兼務しております。

## 会計監査人

監査法人 太田昭和センチュリー  
大阪事務所 大阪市中央区安土町2丁目3番13号  
大阪国際ビル

## 株式のご案内

決算期	12月31日
配当金	利益配当金受領確定日 12月31日 中間配当金受領確定日 6月30日
株主優待	権利確定日およびカタログの初回発送時 12月31日...4月下旬初回発送予定 6月30日...9月下旬初回発送予定 カタログ掲載商品総代金の割引(15%)
株主總會	定時株主總會 3月 臨時株主總會 必要の都度
株主確定基準日	12月31日 その他必要あるときはあらかじめ公告して基準日を定める。
公告掲載新聞	日本経済新聞
名義書換代理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 電話照会先	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 東京 (042) 351-2211 大阪 (06) 6833-4700
同取次所	住友信託銀行株式会社 全国各支店
1単位の株式の数	1,000株
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 大阪証券取引所市場第一部



株式会社 千趣会

〒530-0035 大阪市北区同心1丁目4番31号

電話 (06) 6881-3100